

音楽Ⅰ シラバス

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2	対象	1年
科目の分類	必履修 芸術 (選択 音楽)		履修順序	音楽Ⅰを履修後、音楽Ⅱを履修			
科目の目標	1. 多様な表現活動を通して、演奏技術の伸長や表現意欲の向上を図る。 2. 身近にある音楽やその他の幅広い音楽に親しみ、鑑賞能力を養う。						
教科書 主な教材	・「ON! 1」(音楽之友社) ・「高校生のための新・楽典ワーク」(トビ楽譜出版社)、他						
学習内容 (概要)	・表現 (歌唱、器楽、創作) および鑑賞 (中学校音楽の復習をはじめ、主体的に学習する課題 (教材曲) 選択も含む)						
学習の ポイント	毎 時 間 : 既習曲の斉唱・合唱・鑑賞 題材ごと : 実技練習、ワークシート学習、実技テスト						
到達目標	・基礎的視奏力を身につけ、表現活動 (歌唱・器楽) に活かすことができるようにする。 ・個人が得意とする表現活動 (歌唱・器楽) の力を伸ばし、舞台等で発表できるようにする。						
評価の方法	①授業態度 ②準備物 ③授業での提出物 ④実技練習 ⑤題材ごとの評価の観点 ⑥学期末考査及び実技試験 をもって評価する。学期末考査についてはペーパーテストを実施する。						
学習の展開<年間指導計画の概要>							
	単元または項目		学習のねらい		主な学習活動 (教材等)		
一 学 期	① オリエンテーション(1h) ② 校歌を歌おう(3h) ③ みんなで歌おう(4h)		① 個人の興味関心を調べる。 ② 南風原高生の自覚と愛校心を養う。 ③ 歌う楽しさを感じる。		① 音楽実態調査と授業での約束確認。 ② 南風原高等学校校歌を覚える。 ③ 姿勢、呼吸法、口形など発声の基本を学習する。(眞をください、やさしさに包まれたなら、他)		
	① リズムの基礎(4h) ② ハーモニーの響き①(8h) ③ 郷土の音楽 三線①(4h)		① 音符や休符について理解し、その記号の組合せによるリズムを感じとる。 ② 発声、発音に注意しながら、他ハトの響きを味わう。 ③ 郷土の音楽に親しむ。三線の奏法について理解する。		① 声や身体、打楽器を用いリズム譜の読解にチャレンジする。 ② 他のパートをよく聴いて歌う (少年時代、鳥肌 他) ③ 三線の基本的な扱いについて学ぶ。(かえるのうた、ちようちよう さとうきび畑)		
一 学 期	① 郷土の音楽 三線②(3h) ② イタリア歌曲に挑戦しよう(5h) ③ 楽典 音楽の記号(4h) ④ ハーモニーの響き②(6h)		① 簡単な曲を演奏できるようにする。 ② 歌詞や曲想を理解して表現の工夫ができるようにする。 ③ 楽譜を読むために必要な記号を理解する。 ④ 言葉について理解を深めながら、他声部との音の重なりを考え表現する。		① 三線で簡単な曲を弾く。(ていんさくぬ花、涙そうそう、他) ② 外国語の歌詞に慣れ親しんで歌う。(Osolemia, Caromoben) ③ 基礎的な音楽記号を学習する。 ④ 詞のストーリー性を考えながら、音楽表現へつなげられるよう工夫する。(手紙 他)		
	⑤ ミュージカル(4h) ⑥ ワールド・ミュージック(2h) ⑦ 鑑賞 オペラの世界(3h) ⑧ ハンドベルの響き(3h)		⑤ ミュージカルの知識や歴史を学び、歌唱表現につなげる。 ⑥ 国際理解。曲の旋律の魅力や特有な音の響きを味わう。 ⑦ オペラについての知識や歴史について学ぶ。 ⑧ 一人2~3音を担当し、グループの協力で1曲完成させる。		⑤ ミュージカル作品に触れ、映像を鑑賞しながら音楽形式を学ぶ。(ホリコウガ、他) ⑥ アジアの音楽を聴き、各国の文化の違いを知る。(アリソン 他) ⑦ 映像資料を通してオペラを鑑賞する。(権臣) ⑧ ハンドベル(トーンチャイム)で合奏する。(きよしの夜、もろ人そりて)		
	① 卒業の音楽(4h) ② 合唱発表会に向けて(10h) ③ 1年間のまとめ(2h)		① 卒業生を祝い気持ちを高める。 ② これまで学んだ合唱の成果を出せるよう、全員で協力し、発表会に向けての取り組みを行う。 ③ 学習の成果を再確認し、次年度への意欲を高める。		① 卒業式で演奏する歌を練習する。(卒業式歌 他) ② 混成3部で編成されている合唱曲から選曲を行い、表現の工夫を行う。(合唱曲集より1曲を選ぶ) ③ 1年間の学習を振り返る。		